

<研究成果報告書>

日時：8月22日～8月24日

場所：徳島県勝浦郡勝浦町

私は今回夏季休暇を利用して、徳島県勝浦郡勝浦町へ足を運ぶことができ、たくさんの学びを得ることができた。

はじめに、勝浦町について紹介をする。勝浦町は、徳島県の東部に位置しており、面積は69.80 km²、人口は約5,500人である。勝浦貯蔵みかんが有名で、収穫後すぐに出荷せず、約二か月の間、蔵で貯蔵させてから出荷するみかんである。自然がとても身近に感じられる地であり、標高500mほどの山々が民家のすぐ近くに多く並んでいたのが印象的だった。年間の降雨量が比較的多い地域で、毎年夏になると、台風が来て大雨や強い風がくるのは当たり前のように感じている、というお話を聞いた。地元が北海道の私にとって、台風は、例年通りでいくと北海道にはあまり上陸せずに温帯低気圧などに変わってしまうため、とても珍しいものと認識していた。この認識の差を自分の肌で感じられたことは、大きな学びになった。

次に、今回の研修内容と結果について報告していく。今回の研修は、予定では研修1日目の13時に徳島空港に着くはずだったが、台風の影響で予約していた飛行機の便が欠航してしまい、振替の便で徳島へ向かった。空港に着いたのは19時頃だったため、私たちの研修のお願いを引き受けてくださった、役所にお勤めである2人の方と勝浦町にお住まいのご夫婦と2日目の打ち合わせをし、1日目を終えた。

ここで、私が約3日間お世話になった宿「ふれあいの里 さかもと」について紹介をする。この施設は、勝浦町坂本にある旧坂本小学校を改装してできた場所であり、教室があった場所は食堂や浴場に建て替えてあるところもあれば、部屋へと続く階段や職員室と書かれた札など、学校の一部をそのまま残してあるところもあった。お話しすることのできた職員の方は旧坂本小学校の1期生であり、人と土地の繋がりを感じた。

そして、他のメンバーが利用した「田舎トライアルハウス 坂本家」という施設は、坂本地区の商家を改装し、平成26年12月にオープンした勝浦町のお試し定住施設である。2泊3日から最大3か月間、移住希望者が利用可能である。お世話になったご夫婦は、今年の4月に東京都から移住されて、現在も坂本家で生活をされている。

この2つの施設を知って利用できたことで、様々な理由で使われなくなった建物を改装

して人が集まる場所に生まれ変えることは、来た人にその土地を知ってもらうことに繋がっていくのだと体感することができた。特に「坂本家」のようなお試し定住施設という形は、東京都など都会で暮らしている人にとって、地方へ足を運びやすく親しみやすい仕組みだと思った。

2日目は、ご夫婦が現在取り組まれている古民家改修のお手伝いをさせていただいた。山を車で約15分上ったところに建っている築105年の二階建ての古民家であり、ご夫婦は、ここを自らの手で改修し民宿を始めようと準備を進めている。私たちは、二階部分の壁を造る作業のお手伝いをさせていただいた。珪藻土を小手にとり、壁に直接塗って壁を造りあげていく。50年以上お仕事を続けられている左官屋さんが、作業のサポートしてくださったのだが、職人技を何度も見ることができて本当に感動した。このように、その地域で働かされている職人さんの長年の技が、その地域の伝統や文化を守っているのだということを体感した。

作業が終わったあと、夕食の材料の買い出しのために産直市場へと向かった。勝浦町の道の駅の隣にある市場なのだが、新鮮な野菜に加えて種類豊富な海鮮が並んでいた。海が近くにあるわけではないのだが、並んである海鮮はどれも新鮮なものばかりだった。閉店間際の時間に市場に着いたのだが、まだ多くのお客さんが利用していて、地域の人からとても愛されている場所なのだということが分かった。

夕食後、お世話になったご夫婦と一緒に勝浦町内にあるカフェへ行った。そのカフェを経営している方は、東京都から勝浦町に移住されて今年で六年目になるそうだ。この時間で、勝浦町の魅力や日々の生活の様子などたくさんのお話を聞くことができ、私の地元の話も少し伝えられて、日本国内でもこんなに違うことがあるのかとたくさん発見ができた。

最終日は、勝浦町の食材を使って自炊をして朝食を済ませ、お世話になったご夫婦と宿に勤められている方々とお別れをし、解散となった。

今回の研修で、勝浦町に住まれている方々一人一人が、勝浦町の魅力を十分に理解していて、その魅力を上手く活かしていることが良く分かった。地元の魅力を理解することは当たり前のように感じるかもしれないが、自分自身の地元のことをどれだけ知っているかと考えたとき、深い部分まで多くを語るができる人はそれほど多くはないのではないかと。実際のところ、私がそうである。この二泊三日を通して、今まで自分を取り巻いてきた環境が当たり前になっているせいで、その地の本当の魅力を見逃していたことに気づいた。勝浦町の方々は、勝浦町の魅力を理解し大切にされていて、それを地域全体に活かす活動をされている。その活動が源となって、勝浦町全体のまちづくりに繋がっていることを自分の目でみることができ、地方の活性化に繋がる手がかりを得ることもできた。また、次の長期休暇では再び勝浦町へ足を運び、今回の時期と次回の時期でのさまざまな面の違いや、今回お世話になった方々と顔を合わせてお話しをしたいと思っている。私が吸収できたものを、これからの学生生活での活動に活かしていきたい。